

# 会 議 録 目 次

平成 2 1 年 第 6 回 海 田 町 議 会 臨 時 会 ( 第 1 日 目 )

平成 2 1 年 6 月 2 6 日 ( 金 ) 午 前 9 時 0 0 分 開 会

日程第 1	会議録署名議員の指名について……………	3
日程第 2	会期の決定について……………	3
日程第 3	第33号議案 平成21年度海田町一般会計補正予算 (第 3 号) ……	4
	( 閉 会 ) ……	2 6



7. 欠 席 議 員

な し

8. 説明のため議場に出席した者の職氏名

町	長	山 岡 寛 次
副 町	長	三 宅 信 行
企 画 部	長	大久保 裕 通
総 務 部	長	園 山 純
福 祉 保 健 部	長	内 田 和 彦
建 設 部	長	久 保 伸 一
会 計 管 理 者		永 海 房 雄
企 画 課	長	細 川 真 示
財 政 課	長	白 井 真
総 務 課	長	植 野 敏 彦
生 活 安 全 課	長	佐々木 正 樹
福 祉 課	長	窪 地 満
長 寿 保 険 課	長	加 藤 一 生
保 健 セ ン タ ー 所 長		湯 木 淳 子
都 市 整 備 課	長	木 原 晴 彦
建 設 課	長	久 保 田 誠 司
教 育	長	小 谷 桂 司
教 育 次	長	青 木 基 秀
生 涯 学 習 課	長	青 木 義 和
参 事		新 浜 憲 治
町 民 サ ー ビ ス 室 長		奥 谷 正 則
環 境 セ ン タ ー 所 長		百 本 哲 郎

9. 職務のため議場に出席した者の職氏名

議 会 事 務 局 長		飯 森 靖 彦
主 査		森 原 宏 生



~~~~~〇~~~~~

○議長（久留島） 日程第3、第33号議案、平成21年度海田町一般会計補正予算についてを議題といたします。町長より提案理由の説明を求めます。町長。

○町長（山岡） 皆さん、おはようございます。早朝より大変ご苦労さまでございます。本日は補正予算1件を提出させていただいておりますので、よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

第33号議案、平成21年度海田町一般会計補正予算（第3号）について。平成21年度海田町一般会計補正予算（第3号）は、先般成立した国の補正予算に盛り込まれております経済危機対策関係事業等について追加の予算措置を行うものでございます。内容につきましては担当者から説明させます。

○議長（久留島） 財政課長。

○財政課長（臼井） 第33号議案、平成21年度海田町一般会計補正予算（第3号）についてご説明いたします。歳入歳出予算の補正につきましては、お手元にお配りしております資料1の「平成21年度補正予算説明書」に従いまして、歳出からご説明いたします。3ページをお願いいたします。総務費の総務管理費の一般管理費の庁舎管理事業につきましては、地上デジタル放送対策費として85万円増額するものでございます。次に、一般管理公用車整備事業につきましては、公用車整備事業として850万円を増額するものでございます。次に、電算管理費の電算システム管理事業につきましては、庁舎内ファイルサーバー整備費として126万9,000円増額するものでございます。次に、防犯対策費の防犯灯整備事業につきましては、町内防犯灯LED化推進費として325万5,000円増額するものでございます。

次に、民生費の社会福祉費の老人福祉費の老人福祉一般事務事業につきましては、クリーンエネルギー公用自転車購入費として11万5,000円増額するものでございます。次に、老人集会所費の老人集会所管理事業につきましては、地上デジタル放送対策費として32万8,000円増額するものでございます。4ページをお願いいたします。福祉センター費の福祉センター管理事業につきましては、地上デジタル放送対策費として21万5,000円増額するものでございます。次に、町民センター費の町民センター管理事業につきましては、地上デジタル放送対策費として32万3,000円増額するものでございます。次に、民生費の児童福祉費の保育所費につきましては、環境改善対策費や地上デジタル放送対策費、施設改修費として999万7,000円増額するものでございます。5ページをお願いいたします。

児童館費につきましては、地上デジタル放送対策費や環境改善対策費として82万円増額するものでございます。次に、児童クラブ費につきましては、地上デジタル放送対策費や環境改善対策費として76万8,000円増額するものでございます。次に、ひまわりプラザ費につきましては、地上デジタル放送対策費や環境改善対策費、施設改修費として439万4,000円増額するものでございます。

次に、衛生費の保健衛生費の保健センター総務費の保健センター総務一般事務事業につきましては、地域相談体制強化に係る緊急雇用対策費やクリーンエネルギー公用自転車購入費や地上デジタル放送対策費として214万7,000円増額するものでございます。6ページをお願いいたします。保健センター改修事業につきましては、施設改修費として308万7,000円増額するものでございます。次に、予防費の疾病予防事業につきましては、女性特有のがん検診推進費として798万7,000円増額するものでございます。次に、衛生費の清掃費の塵芥処理費の環境センター公用車整備事業につきましては、公用車整備費として1,525万1,000円増額するものでございます。

商工費の商工総務費の消費生活相談事業につきましては、消費者行政活性化対策費として170万4,000円増額するものでございます。7ページをお願いいたします。商工業振興費につきましては、前回の補正予算で計上いたしました商品券発行補助事業費について地域活性化・経済危機対策臨時交付金が充当されることによる財源振替でございます。

次に、土木費の土木管理費の土木総務費の土木総務一般事務事業につきましては、公園管理等に係る緊急雇用対策費として13万1,000円増額するものでございます。次に、土木費の道路橋りょう費の道路橋りょう総務費の道路橋りょう総務一般事務事業につきましては、道路管理等に係る緊急雇用対策費として127万1,000円増額するものでございます。次に、道路維持費の町内道路修繕事業につきましては、道路修繕関係費として2,920万円増額するものでございます。8ページをお願いいたします。町道2号線冠水警報装置設置事業につきましては、設置事業費700万円を増額するものでございます。次に、道路新設改良費の町道1号線（中店第一踏切）改良事業につきましては、道路改良費600万円を増額するものでございます。次に、町道9号線改修事業につきましては、歩道改修費5,550万円を増額するものでございます。次に、橋りょう維持費の橋りょう長寿命化事業につきましては、点検調査費600万円を増額するものでございます。土木費の都市計画費の都市計画総務費の都市計画総務一般事務事業につきましては、公園管理等に係る緊急雇用対策費として254万1,000円増額するものでございます。9ページをお願いいた

します。公園費の一般公園改修事業につきましては、公園改修費1,197万3,000円を増額するものでございます。次に、土木費の河川費の三迫川緑道整備事業につきましては、緑道整備費230万円を増額するものでございます。

次に、消防費の水防費のポンプ管理事業につきましては、排水ポンプ整備費として12万円増額するものでございます。

次に、教育費の小学校費の小学校改修事業につきましては、改修費1,452万8,000円を増額するものでございます。次に、教育振興費の小学校教育振興事業につきましては、地上デジタル放送対策費として1,171万8,000円増額するものでございます。10ページをお願いいたします。学校給食費の小学校給食事業につきましては、給食設備改修費として360万2,000円増額するものでございます。次に、教育費の中学校費の教育振興費の中学校教育振興事業につきましては、地上デジタル放送対策費として340万2,000円増額するものでございます。次に、教育費の社会教育費の公民館費の公民館管理事業につきましては、地上デジタル放送対策費として37万8,000円増額するものでございます。次に、公民館改修事業につきましては、改修費2,184万円を増額するものでございます。

続きまして、歳入をご説明いたします。1ページをお願いいたします。国庫支出金の国庫補助金の総務費補助金につきましては、地域活性化・経済危機対策臨時交付金1億441万円を増額するものでございます。次に、保健衛生費補助金につきましては、疾病予防対策事業費等補助金798万7,000円を増額するものでございます。次に、清掃費補助金につきましては、自動車低公害化推進事業補助金196万円を増額するものでございます。次に、道路新設改良費補助金につきましては、道路改良工事費補助金及び地域活性化・公共投資臨時交付金2,185万円を増額するものでございます。次に、教育費補助金につきましては、学校情報通信技術環境整備事業費補助金776万3,000円を増額するものでございます。

次に、県支出金の県補助金の総務費補助金につきましては、緊急雇用対策基金事業補助金及び広島県元気づくり緊急交付金5,021万4,000円を増額するものでございます。次に、商工費補助金につきましては、広島県消費者行政活性化事業補助金170万4,000円を増額するものでございます。

2ページをお願いいたします。繰越金につきましては、財源調整のため、前年度繰越金4,262万6,000円を増額するものでございます。

続きまして、議案をご説明いたします。第33号議案をお願いいたします。このたびの

補正予算につきましては、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億3,851万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ82億4,033万4,000円とするものでございます。以上で平成21年度海田町一般会計補正予算（第3号）の説明を終わります。

○議長（久留島）以上で説明を終わります。これより質疑を行います。質疑があれば許します。西山議員。

○11番（西山）11番、西山です。前回の全協での説明で十分に精査できていませんでしたので、多く質疑させていただきます。

まず、1ページの歳入でございますが、今回、総務費国庫補助金が1億441万円海田町に来るということですが、全協のときの資料でいきますと、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業で1億734万8,000円という提示があります。そこで一般財源が1,870万7,000円、これは全額の補助でございますし、ここは基本的に1億441万という数字がふさわしいのではないかと思います、その辺に對することがどういうことかということ。

それと、自動車低公害化推進事業及び学校情報通信技術環境整備事業の予算確保ですが、この予算説明の中では自動車低公害化推進事業補助金が、国の補助は98万で、残りがまだあとあるんですけれども、996万8,000円は地域活性化・経済危機対策臨時交付金を充てるということは、そうするとますます数値が足りないとは判断します。また、学校情報通信技術環境整備事業費補助金も、補助率50%ですので、あとの50%は地域活性化・経済危機対策臨時交付金で充てるということになると、この数値をどのように見ればいいのか。総事業費にこの2つを充ててもこの総事業費の数値にならないんです。2点目が、私としたら数字が気になるんです。

それと、広島県元気づくり緊急交付金事業でございますが、これは資料で確かにこの数値に上げられています6,133万9,000円ですけれども、このうち交付率は対象経費の3分の2となりますと、この4,500万という数値はどこから出てくるのかということです。だから、総事業費は6,133万9,000円ですね。交付率が3分の2をここで計算しますと4,089万2,000円なんです。そうしますと、ここの整合性がどういうことになっているのかなという、私としたら判断ができないわけです。歳入につきましては以上質疑いたします。

続きまして、今度は歳出でございますが、まず6ページの衛生費、清掃費の備品購入

費、環境センター公用車整備事業1,525万1,000円。今上げさせていただきましたように、実際のこれに対する補助は、1ページでいきましても196万円の国庫補助がおりてくるわけですね。196万円と、この説明にありました臨時交付金の996万8,000円を充てるわけですけれども、ここの国庫支出金は1,192万8,000円で、一般財源を332万3,000円という、この振り分けの金額。じゃ、なぜ今回一般財源332万円を充ててこの整備をなさらないといけなかったのか、もっとほかの補助事業を活用することはできなかったのかということです。

次に、今度は県の緊急雇用対策基金事業補助金でございますが、公園等管理事業で267万2,000円、これは全額補助でちゃんとされていますので、数字的にはいいんですけれども、7ページの、だから、これは款で流用できるんですかね。土木費に消耗品費と燃料費、これは現在当初予算で足りないのをここで付加されたのかどうかという問題です。

次の道路橋りょう総務費の臨時職員賃金112万9,000円ですけれども、この資料を見ますと、道路許可申請過年度分のデータ入力、また道路河川等の許可申請の受け付け事務等のために臨時職員を雇うということなんですけれども、これは過年度分ということは、過年度にわたってそこは人員配置に誤りがあったと見ても仕方がないんですけれども、今回これでまた正常の人件費で補っていけるかどうかという問題です。

次に、8ページですけれども、橋りょう長寿命化事業の600万、これは海田町のどこまでの橋を対象に点検をされるのかどうか。

次の都市計画総務費の臨時職員賃金ですけれども、この説明を見ますと、公園台帳の整理、公園施設の点検・清掃、遊具の点検、樹木の剪定及び除草業務等になっておりますが、じゃ、これは現在各団体とかに、少しですけれども、見ていただいている上にきれいにするために今回のこの人件費をここに上げてこられたのかどうか。それと、何名臨時職員を雇用されるのかどうか。

それと、9ページの小学校改修事業ですけれども、電力設備整備事業。今回の資料の7は、給食室に真空冷却機を導入するに当たり必要となる電力設備の整備を行う整備費として計上されているわけですけれども、この6月補正の一覧というところでは、そこに海田南小学校給食室に真空冷却機を設置するという事業実施箇所はこの同じ資料ですよということですが、やっぱりこういった誤った資料を出していただいているのは困るんです。この真空冷却機を設置するのは、次のページに360万2,000円を計上されておりましたよね。改修事業は電気の整備事業ですよ。ですから、この問題は指摘だけです。

けれども、資料提供のときには間違っただ資料を提供していただいたら困るということです。

次に、教育振興費、小学校教育振興事業で1,171万8,000円、今回のデジタルテレビに変更ということですが、電子黒板が予算化されなかったんですが、電子黒板機能つきデジタルテレビが売り出されているんです。それを検討されるお考えがあるかないか、これは小・中学校両方ですが、最近ではこのデジタルつきテレビに電子黒板の機能を持ったデジタルテレビがあるわけですが、それを検討なさるお考えはないかということ。

最後に、6ページの予防費なんですが、今回20歳から5歳置き、40歳から5歳置きで無料のクーポン券が発行されて、がん検診を推進していこうということで、国からクーポン券発行枚数に対して50%の受診率を目標としておりますけれども、この予算を執行するに当たって、町としたらその50%に対してどのように努力をされていくのか。以上です。

○議長（久留島）財政課長。

○財政課長（臼井）西山議員の質問にお答えいたします。

まず、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業につきまして、全員協議会でお配りした資料と今回の数字が合わないのではないかとごさいます。全員協議会のお示ししました資料の6月臨時補正額総額は1億734万8,000円という額を計上させていただいております。そのうち国庫支出金で8,864万1,000円計上、残りを一般財源ですよというご説明をさせていただいております。先ほども、この後の答弁にもかかわってくるんですが、経済危機対策臨時交付金事業につきましては、ここに掲げております事業ともう2事業、自動車低公害化推進事業の国庫補助分の補助裏部分に臨時交付金を充てます。それから、学校情報通信技術環境整備事業費につきましても、国の補助メニュー、補助金の残りの一般財源部分にもこの経済危機対策臨時交付金を充てることとしております。このたび全員協議会に出しました資料につきましては、それぞれの事業を明確にするため、臨時交付金事業以外の補助金、主な部分の補助金が上がっておる部分についてはそちらで計上させてもらっておりますので、そういった表のたてりをしておりますので、今回こういう形になっております。地域活性化・経済危機対策臨時交付金につきましては、国から1億441万円入ってまいります。ただし、事業費としましては、町としましてもこれらの経済危機対策に対しての取り組みという部分を表に

出したいということもございまして、一般財源をつぎ込みまして今回の事業を取りまとめさせていただいております。そういうことで一般財源の持ち出しが出てくるということもございます。

それから、自動車低公害化推進事業、学校情報化技術につきましては、先ほども言いましたように、それぞれの単独の補助金がありますので、まずそれを充当させていただいて、残りの部分について臨時交付金を当てはめております。ただ、先ほど言いましたように、町の一般財源部分の持ち出しがございますので、それを100%補完できないという部分がありますから、そこらにつきましては割り振りをさせていただいております。

次に、広島県元気づくり緊急交付金事業でございますが、総事業費に対して県から来る補助金の額は450万円でございます。これにつきましては、通常分につきましては事業費の3分の2の充当。ただし、海田町が出しております事業のうち、あんしん歩行エリアの事業につきましては、県が特別に認めてくれて、特認事業というんでございますが、この部分については100%の充当をするということになっております。それが1,800万円あります。これにつきましても、先ほど申しましたように、4,500万の補助金に対して4,500万の事業費ではなくて、町としてもそこらのことで一般財源の持ち出しをさせてもらっておることがありますので、前回の資料でもお示ししましたとおり、この事業につきましては1,633万9,000円ほど一般財源を積みさせていただいております。

次に、歳出の環境センターの自動車の分の件でございます。今先ほど歳入でお話ししましたように、これにつきましては1台当たり98万円という単独の補助金がございます。この部分の98万、それから臨時交付金を充て込んだ残りが一般財源ということで整理させていただいております。

○議長（久留島）建設課長。

○建設課長（久保田）続きまして、橋りょう点検の調査のご質問ですが、どこまでの橋が対象になるのかということでございますが、町の管理しております2メートル以上の橋りょう89橋を対象にしております。

○議長（久留島）都市整備課長。

○都市整備課長（木原）公園関係の管理業務ですけれども、今回土木費で燃料費と統括しておりますので、そちらへ消耗品費と燃料費を組ませていただいて、人件費分を公園費へ組ませていただいております。

それから、各団体にお任せをある程度しておるという上にやるのかということでござ

います。一応手の届かないところもあるので、その部分、上に2名の方を雇用して公園を中心に清掃作業をお願いしたいというふうに考えております。

○議長（久留島）総務課長。

○総務課長（植野）道路橋りょう費の一般総務費の関係でございますが、こちらの人件費につきましては、現在、道路占用許可等の事務を技術職員が行っております。今回の補正で道路維持や校舎等の改修等、業務がたくさん入ってまいりましたので、比較的簡単な一般事務につきまして臨時職員で対応しようというものでございます。

○議長（久留島）教育次長。

○教育次長（青木基秀）テレビつき電子黒板の検討についてでございますけれども、このたび国はテレビつき電子黒板もしくはテレビがついていない電子黒板を国の補助対象として上げております。今回購入しますテレビがこの電子黒板に接続が可能となりますので、もし今後整備することとなれば、テレビがついていない電子黒板になろうかと思っております。この電子黒板の整備につきましては、今後必要が生じた段階で予算化を図っていきたいというふうに考えております。

○議長（久留島）保健センター所長。

○保健センター所長（湯木）予防費の女性特有のがん推進事業を50%受診率目標を達成するために、まず7月に個別通知、クーポン券と検診手帳を一緒に送付して周知に努めます。現在、集団検診が明日から始まるんですが、その集団検診を受けられない方のために個別検診を進めていきます。現在は子宮がん検診しか個別検診できていないんですが、今、乳がん検診を個別に医療機関で行えるように準備を進めているところです。その他、広報、ホームページなど、皆さんが検診を受けようというふうな気持ちになるような周知の表現に努めてまいりたいと思っております。

○議長（久留島）西山議員。

○11番（西山）私の質疑の仕方が悪かったのか、明確な答弁が返ったのは今の予防費と教育費で、特に歳入に対してはちょっと……。

じゃ、全協でのこの表は一切おかしいと判断してよろしいんですか。だって、この自動車低公害化推進事業で半額は地域活性化・経済危機対策交付金を充てるのに、この事業で全額になっているんです、補助も。この事業の補助ですよ。また、スクールニューディールもこの金額になっているんですね。この金額そのものは経済危機対策臨時交付金の中に総額として入らないとおかしいですよ。だから、もっとこの1億441万より

も大きくなると私は思うんですけれども。それが1点です。

もう1点は、それをのけたとして、いや、理由があるんですとおっしゃいましたら、1の国庫支出金でここに1億441万という数値が入って、それ以外にもっと事業をするので一般財源化するんですよという判断なのか。だから、この読み方がますますおかしくなるんです。だから、自動車低公害化推進事業は、一般財源の332万3,000円は、純粋な補助金だけでは足りないので一般財源を導入するという判断を私はしてしまっていて、それでもそういった事業を今回推進されるのですかと私は質疑したはずなんです。これも何らかの補助対象で全額補助にならなかったのですかという質疑をしたんです。そういう答弁が全然ないですね。

次の広島県元気づくり緊急交付金事業4,500万、県から3分の2の補助の事業をしなさいといって4,500万がおりてきますと言われてますね。なのに、この説明によりますと、その事業は6,133万9,000円をして、これが3分の2に当たるかと思って、もう一度ここに出されている金額の3分の2を精査してみますと4,089万にしかならないんです。ですから、県の3分の2の補助の金額で対応できるのは4,089万2,000円だと私は判断したんです。そういたしますと、県からは4,500万の提示があれば、あと300万その事業ができるのではないのでしょうかという、もう私はわかっている質疑をしています、補助率とか。どうなのでしょうかとこの質疑をいたしました。その明解な答弁をいただいております。

それともう1点は、1ページの7教育費国庫補助金。補助金がおりののは776万3,000円となっておりますけれども、これは提示額の2分の1であれば774万9,000円ですね。1,000円をのけたとしても775万円にならないといけないんですけれども、この776万3,000円が補助金でおりののであれば、これと同額の予算計上がなされていないといけないと思うんですけれども、この数値の差異はどういうことでしょうか。

○議長（久留島）財政課長。

○財政課長（臼井）まず、地域活性化・経済危機対策臨時交付金でございますが、先ほどもお答弁させていただきました。まず環境センターの低公害車等導入促進事業につきましては、総事業費1,525万1,000円に対しまして、国の今の低公害車促進事業の補助金が1台当たり98万ですから、196万円の国庫補助金が出てきております。それ以外に臨時交付金を996万8,000円充当させていただいております。それ以外が一般財源の332万3,000円。教育委員会のものにつきましても、先ほど言いましたように、776万3,000円が国か

らの補助金が出ております。合わせて臨時交付金の580万1,000円をこの事業に充当させていただいて、残りが一般財源ということでございます。そのように、経済危機対策の事業につきましては、それぞれのメニューに全額事業費に対して入ってくるお金が少のうございますから、それぞれに割り振りをしておりますので、当然一般財源が出てくるといふものでございます。

それから、広島県の元気づくりの臨時交付金事業につきましても、メニューとしては7メニューございます。7メニューのうち6メニューにつきましては確かに3分の2の充当でございます。先ほど申し上げましたあんしん歩行エリアにつきましては1,800万円全額を充当させていただいております。元気づくりにつきましては、6,133万9,000円の総事業費に対して4,500万の交付金をすべて充当して、残り部分が一般財源というふうなことでございます。

○議長（久留島）西山議員。

○11番（西山）さっきの学校情報通信の件ですけれども、国からこの学校情報通信技術環境整備事業費補助金、国が50%ですね。ここに掲げられている数値が1,549万8,000円です。あとの半分は地域活性化・経済危機対策臨時交付金を充てるとなれば、1,549万8,000円を2で割りますね。そういたしますと、半額ですから、774万9,000円です。そういたしますと、この歳入のところの教育国庫補助金が776万3,000円というのは、この差異はどういうことでしょうかということなんです。

それと、先ほどから言っておりますけれども、私はこの自動車低公害化推進事業は2つの補助金、交付金を使っても、今回導入するに当たっては332万3,000円不足が出るので、一般財源を入れますという、私はこの数値は理解できるんです。そういたしますと、この332万3,000円の一般財源を入れるのではなくて、違った車種の変更とか何らかの補助金で対応できなかったかという判断はされなかったのかということと、ほかに何らかの補助金対象はなかったのかということなんです。

それと、教育委員会のデジタルテレビ化ですけれども、今回デジタルテレビに電子黒板の機能がついたデジタルテレビが売り出されているんです。今から何とかどうとかじゃなくて、デジタルテレビに買いかえるときに電子黒板の機能のついたものを買えば、今後電子黒板を購入する必要はないわけですね。今度タッチパネルの、次の次の子どもたちへの授業をよくできるための機器購入の整備ができるわけですから、別個の問題ではなくて、今回せつかく国が地域活性化・経済危機対策交付金でスクールニューディー

ル構想の中に電子黒板も、新聞報道を見ますと、多くの自治体で導入をもう決めたという報道がたくさんあるわけですが、デジタルテレビにもうついているんですから、同じ購入するのであれば、そのデジタルテレビを購入すれば今度電子黒板を購入しないで済むわけじゃないですか。購入に当たってその検討をなさるお考えはないでしょうかということですか。

○議長（久留島）環境センター所長。

○環境センター所長（百本）西山議員の質問でございますが、まず低公害車につきましては塵芥車、いわゆるパッカー車でございますが、ハイブリッド車の約830万を計上させていただいて、それからアームロール車が690万で、1,522万を今回計上させていただいております。その中でなお国から196万円の補助が出るということでございましたので、それを差引いたもので計上させてもらっている部分があります。

○議長（久留島）副町長。

○副町長（三宅）今の答弁に補足いたします。おっしゃられるとおり、ほかの補助金がないかというのは検討いたしました。これにつきましては逆に臨時交付金で全部ということも考えましたが、臨時交付金の総額がやっぱりキャップがあるという形で、臨時交付金の場合はほかの補助金と合わせてもいいという形で196万円の部分を取り込み、残りをと。それでもやはり総額を超えることになりましたので、ある程度今後の入札率とかそういうところもかんがみて、余らせることのないようにと考えたときに、幾つかの事業に一般財源を充てていく中で、この事業については300万余りを充てるという形をとりまして、残念ながら、この今の196万円以上の補助金がございますので、一応そういう中で今回はこういう組み合わせ、196万円と、一定部分に臨時交付金を充てて、残りは一般財源を充てるという形がベストなのではないかと判断いたしまして、この部分については組ませていただいたと。全協でも申し上げましたが、国から来るお金を余らせることのないような組み合わせというものを少し考えまして、入札の残が出て、それで戻すこともないようにとかというようなところで一般財源を組ませていただいておりますので、この部分につきましてはベストな組み合わせだったかなというふうに考えております。

○議長（久留島）教育次長。

○教育次長（青木基秀）まず、学校情報通信技術環境整備事業費補助金の件でございます。

これにつきましては総事業費が1,549万8,000円、これは現在、予算の組み立てとしまし

ては各学校ごとの事業別予算で、その1,000円を切り上げたもので積み上げたものの総額がこの金額になります。国への国庫補助の申請につきましては総額でございます。総額が1,549万5,130円になります。これの2分の1をしたものに事務費といたしまして1万9,000円いただきます。この事務費を加算したものがトータルで776万3,000円になります。そういった形の中で、全員協議会の中でお示した金額と差異があるというのはその辺が理由でございます。

もう1点でございます、デジタルテレビつき電子黒板の検討についてでございますけれども、このたびの補正予算をさせていただきましたのは、原則私どもは、実施計画に計上していた事業であるとか、あるいは21年度当初予算で計上していた、予算要求しながら査定で落ちたといったものを中心に今回出させていただいたものでございます。また、デジタルテレビにつきましては、平成23年にアナログ放送を終了し、地上デジタル放送に完全移行するというので今回これを計上させていただいたものでございます。先ほど申し上げましたように、今後、学校の授業の中での活用等と十分に検討しながら、現場に沿った形の中で予算措置を検討していきたいというふうに考えております。

○議長（久留島）佐中議員。

○15番（佐中）15番、佐中です。数点にわたってお尋ねいたします。

今回の補正、これは15兆円。とてつもない補正であります。しかも、中身は3分の2が国債を発行するという状況で、あとはいろいろ税をもってやるんでしょうけれども、非常に将来に不安を残すこういう補正であります。私がお尋ねしたいのは、15兆円というのがありますけれども、いろいろやって14兆円と見ても、それから照らし合わせると、海田町の2億6,000万の今回の補正は少ない。先ほど答弁がありましたけれども、先ほど配りました定額給付金2兆円の中で海田町には4億3,000万ですか、おりておるわけですね。その水準から見ると、今回海田町は4倍、5倍というような数字が上がってくるわけですね。最低でも10億は海田町に落ちてこなければならぬ仕組みになるわけですね。これはなぜなのか。先ほど地域活性化・経済危機対策臨時交付金の枠があると言われて、全協でもありましたけれども、私の調べでは、そのうち都道府県では4,000億円。1兆円の40%が都道府県、市町村に6,000億円出すという枠ですね。そうしたら、1,800としても、自治体があるわけですが、平均は行かんけれども、平均としたら3億円、これだけでも落ちる計算になるんですが、海田町は、今1億441万円という枠があると言われるんですから、しょうがないとすればしょうがないと思うんだけど、しかし、先ほどの

全体の数字から見れば非常に少ない、このように思うんですが、なぜこれが少ないのか。これに限らず、地域活性化・経済危機に限らず公共投資というものもあるんですね。これらも含めて、なぜ少ないのか。1年で事業をせにゃいかんから、1年の中で間に合わんからこれだけで抑えておるのかどうか、これをお尋ねいたします。

2つ目には、これは町長や副町長ぐらいしか答えてもらえんと思いますけれども、このような事業をしても1年ぽっきりで、ビジョンも夢も何にもない。さっきがん検診がどうのこうのと言われたけれども、1年だけやったんじゃ何の効果もない。全くないとは言いませんよ。それが3年とか5年とか続けるのであれば確かに効果があると私は思うんですが、全くない。それにこのような莫大な費用をかけてばらまきの政策をやっている。私が計算してみたら、15兆円を1人当たり直すと約十二、三万の借金を今回しておることになるんです。これだけむちゃくちゃなやり方をして、市町村の6団体が要求もされたりいろいろあるんですが、もっとほかの方法で改善させるような要求があってもいいはずだというように思うんです。ざっと計算しても1人当たり11万から12万の借金をする計算になるわけです。その計算で海田町にその予算を見れば、3万人の人口を掛けると30億ぐらいの計算になるわけです。30億というたら、大体80億前後の当初予算を組むわけですから、その計算でいくと、3分の1の事業をできると私は思うんです。私は今でもいいように世の中を子々孫々に残してやりたいという立場から私は一生懸命政治活動をさせていただいておるんですが、逆にどンドンどンドン借金を重ねて、この間の全協の中でも言いましたけれども、子どもさんを産むのに50万かかる。生まれてきたら1,000万の借金を負わにゃいかんような、こんなむちゃくちゃな政治をやっていること、これは改善をする必要があるんです。そうはいうたって、海田町だけもらわんというわけにはいかないと思います。そういう面では逆に、そういうばらまきの予算があるんじやから、もっととってこいという、私はその立場で今発言をしておるんですが、この点はどのように考えるのか。1人当たり10万から11万、海田町は借金をこの15兆円のために遭うんです。何でかという、今1億2,765万人の人口がおりますから、15兆円を割ってみたらその数字になるわけです。私はこの点から見て、1番と2番を今言いましたけれども、圧倒的に総額が少ない。私の調べるところによると、ある広島県の町は6億とっておる。これは合併した町で、しかも過疎だからそこに制限が緩和されてとっておるのかどうか、そこら辺はようわからん。それもお尋ねしますけれども、海田町より少ない人口の中で、1万ちょっとぐらいしかないんですが、6億もとってこの事

業をやろうとする。海田町は2億6,000万。私は、なぜそうなってきておるのかというのをお尋ねします。

それから、3つ目です。海田町で一連の不正侵入とかそういう問題がある。緊急にやらにゃいかんような問題を私は当面この予算を使ってやるべきだというように思うんです。学校警備の問題、あるいは町施設やら管理の問題、この中で町民の財産を守る。1年ぼっきりでやるんだったら思い切ってこれをできると私は思うんじやけれども、これまで一般会計の中で操作をしながらやってその方針を出されておるのかどうかわかりませんけれども、この点は、これを研究課題としてやらなければならないのに、なぜできないのか。

4つ目には、このすべての事業で元気づくりの緊急交付金、全体から見て年1回しかできんのですね。それで、今年限りでやって、先ほども質疑があつて答弁があつたけれども、1年以内に必ずそれをやらにゃいかんのかどうか、来年度に持ち越すことはできないのかどうか。だから、事業がずっと狭まってきて、なかなか広がっていかないという感じを受けるわけですが、その点はどうなっておるのか。この4点をお尋ねします。

○議長（久留島）副町長。

○副町長（三宅）1点目と2点目は少し同じような答弁になってしまうかも知れませんが、現在、確かにおっしゃるとおり、率からいけば少し少ない部分がございます。しかしながら、この補正予算の様々なものにつきましてはキャップがはまって、これについては国が、人口ですとか、先ほどおっしゃいました合併だとか過疎だとか、そういったようなものを組合わせた中で示してきた金額になっておりますので、不本意な部分もありますが、現段階で取り組めるものはすべてと考えております。ただ、公共投資につきましては、現在考えておりますのが、学校の耐震化をこの後、まだ今は設計中でございますので、はっきりした段階で補正をお願いしたいと思っておりますので、これは今回のお願いしております金額を相当上回る金額になると思っておりますので、今回の経済対策の今後の分になろうかと思えます。そういったようなもの、それから、さらに今後新たにメニューが明らかになりますものについては海田町について取り組んでまいりたいと思えますし、さらには国・県の事業で海田町に該当するものについて積極的に取り組んでくれるよう、これは要請活動を行っていく。そういうことで、今回の15兆円をいかに海田町に役立てるかということについては、議員がおっしゃいましたように、とにかくとれるものはとるといふような、海田町にこれが落ちてくるようにということで努力をし

てまいりたいと思います。1点目と2点目について明確なご答弁になったかどうかわかりませんが、1点目、2点目のご答弁にさせていただきます。

3点目の不正侵入についてでございますが、これにつきましては緊急にやらなければいけないものにつきましては予備費において行いました。残りの部分につきましては、残念ながら、今回は工事とかそういったような事業費が主でございます、取り組むようなメニューがございませんでした。そのために、先日の全協でもご説明しましたように、来年度当初予算に向けて検討をさせていただきたいというふうに思っております。

4点目につきまして、繰り越しは可能かというご質問でございますけれども、これについては、1つずつの事業によって、繰り越しが認められているものと認められていないものがございます。一番大きな例で申しますと、先ほど申しましたような耐震化事業といったようなものについては、年度内に発注まで行けば工事費は全額繰り越しでも可能というように説明を受けておるものもございますし、現段階では元気づくり交付金あたりは原則的には、というのは3月になってみればというところはございますが、原則的には年度内に終了するよという事業だというふうに説明を受けておりますので、それぞれ事業の中身を精査して、3月までに終了すべき事業、それから、場合によっては今後繰り越しも考えていく事業、そういうふうに区分をしております。以上でございます。

○議長（久留島）佐中議員。

○15番（佐中）私は努力が足らんというように思うんです。なぜそう言うかという、この間の全協の中で、交付金や補助金でいろいろ規定に基づいて、あるいは政令や省令の中で、1条は名称、2条は目的とかというのが大体あるわけですが、それが全くなくて、本当につまみができるという。だから、私は、もっと広く対象になるものいっぱいあるのに、それを、手を抜くと言うたら表現が悪いかも知れませんが、なかなかそこまで思いつかずにやって、当面できるところだけやろうというような、そんな感じを受けるわけです。ですから、そこをもっと工夫をして。なぜかという、総額が1人当たり11万から12万の、全部が全部借金じゃない、3分の2は借金ですね。間違いありません、これは。国債を発行しておるんですから。この予算を、町民にそれだけ将来にわたって賦課するわけですから、海田町は財源はもっと有効に使う、ここの工夫が必要だと私は思うんです。そういう面では今の地域活性化・公共投資臨時交付金1兆3,790万が交付率90%ですね。だけれども、枠がない。海田町では3,270万、こういう中でやら

れておりますけれども、もっともっとそれを拡げていったらできると私は思う。そこをなぜしないのか。私がいろいろ調べてみると、基金というのがあるんですね。基金を積み立てて事業を行う。これは3年間多分許されると思うんですけども、こういうのを思い切って活用する。そして、今緊急にしなければならないのに、なかなかそれができない。それはなぜかという、計画したり、やる場合にかなり時間がかかるから、1年以内にできない、そういう場合に基金に積み立てて、ここにそれなりの予定を組んでやるということもできると思うんですがね。例えば基金の中には緊急雇用の創出事業臨時特例交付金とかというのがいろいろずっと出てくるんですが、これらがなぜ基金という名称でここに上がってこないのか。海田町は、職員が知恵を絞って本当にやろうと思ったら30億の仕事がこれでできるというように私は見るんですが、それがなぜ活用できないのかどうかというように思います。

○議長（久留島）副町長。

○副町長（三宅）今お話にございました、まず後半部分の基金事業でございますが、この基金事業につきましては、町で基金を積み立てる事業はこのたびございません。すべて県で基金を積み立てて、その事業を今後3年間なら3年間にわたって町で活用していくと。ですから、そういう意味では、今回の雇用対策事業につきましては県が積んでいる基金を海田町が交付を受けてということですから、これらにつきましてはまた来年度、私どもで活用できる部分について県費からとってくるという形をとりたいと思っております。

それから、先ほどの公共臨時交付金の90%というふうにおっしゃられましたが、これは補助裏の90%というような形になっておりまして、もともとの国庫補助事業の採択という部分が必要になってまいります。そういったような中で言いますと、先ほどの耐震化等につきましては学校の耐震化事業という補助金を受けて、その残りにまた90%を充てるというような形になってまいります。そういう中では、確かにこのたび組んでいたものについてはとってまいりますけれども、長期的な計画の中で用意していなかったもの、特に用地が用意できないものとか、2年以上にわたるものというものについては残念ながら対象外という形になってしまいますので、議員がご指摘のとおり1人当たりとかに比べての比較ということはあるかとは思いますが、現段階で海田町としてとってこられるメニューについては一応各担当が全員当たったの上でございますので、今後さらに検討してまいりたいと思っておりますけれども、今回ご提案しておりますものが一応現段

階でのすべてだというふうにご判断いただきたい。ただし、すべてのメニューをまだ把握しておるわけではございませんので、全協でも申し上げましたように、今後次々と明らかになります事業についてそれぞれ、海田町で取り組めるか、それがまた取り組むことが有利になるかということ判断して検討してまいりたいと思います。

○議長（久留島）佐中議員。

○15番（佐中）今の基金の問題ですけれども、よく見ると都道府県が基金を設置と書いてあって、私の資料にありました。そうすると、市町村からこういう事業をするからというので基金の積み立ての枠というのか、要請をするということは考えられるのかどうか、これをお尋ねします。

それからもう1つは、これから先まだいろんな面で事業が起こせるという答弁がありましたけれども、補正もやる、新しいこの間あった子ども安心事業とかこういう問題がまた出てくるとい問題が出てくるわけですね。そうすると、遅くなればなるほど年度内にやらにゃいかんとい問題が発生するわけですよ。それでこの程度で、どうもできる自信がないということになると、初めから手をつけまいかというようなことが起き得るといように私は見るわけです。だから、早く対策を持って早く計画をしながらその事業を進める、このことが必要ではないかというように思うんですが、それはどうなのか。

それから、今後補正は、そういう事業を早くするためには臨時とかを何回も開いてこれをやる考えがあるのかどうか、お尋ねします。

○議長（久留島）副町長。

○副町長（三宅）今回はまず国の補正予算ですぐに着手できるもの、おっしゃられるとおり、早期に着手しなければいけないので、この時期に臨時をお願いいたしました。今後のものにつきましては、メニューが示される都度、そういった工期等も考え、必要があればまた臨時で補正審議をお願いすることになろうかと思ひます。

○議長（久留島）西田議員。

○8番（西田）8番、西田です。資料1の3ページのところ、一般管理公用車整備事業といところなんです、ここへ計上されている内訳と、今回地域活性化と経済対策、それから環境対策等に関して基本を置かれて選ばれたものと思ひますが、技術が日進月歩変わってきております。最近になっていろんな技術開発が進み、それに対する環境対策、または経済対策、車においては燃費対策等が随分進んできております。そこらが、この

時点で精査された具体的なものと、今現時点でかなりそういったものが示されてきておりますので、そこらの関係がどのようになっているのか、明確にお答えをお願いします。

○議長（久留島）総務課長。

○総務課長（植野）今のご質問につきましては、MPVとビアンテとの比較のことだと考えておりますが、こちらにつきましては補正予算を作成する段階で2,300ccのビアンテとMPVの2,300を比較しました結果、燃費が、ビアンテの場合はハイオク仕様でございました。それと、その時点での燃費もMPVの方が0.4キロよいということでこの補正の段階では決定をいたしておるところでございます。ただ、昨日、ビアンテのi-stop（アイストップ）をつけたものが発表されましたのですが、この段階ではこういうことでMPVということにしております。

○議長（久留島）西田議員。

○8番（西田）ということは、今回計上されている内容で車種の変更等は、今確認されたということですから、あるというふうに理解してよろしいでしょうか。

○議長（久留島）総務課長。

○総務課長（植野）車種の選定につきましては総合的な観点からも検討しております。乗車定員、荷物スペース、装備等も比較して大きな差がないということで、より乗車性能のよいMPVということで考えております。

○議長（久留島）西田議員。

○8番（西田）私も少し研究してまいりまして、総合的に判断されたと言われたんですが、総合的に判断すると随分差があるように思うんです。まず燃費の面。2,300で一応見積もりをされたと思いますが、2,000ccにおいては燃費に数段差があります。まずそれが第1点。それから、乗車定員に関しては互いに同じ条件でございます。それから、今の地域の活性化または経済対策ですね、技術対策を含めてですが、そういった振興を図る意味からしても、新しい技術のものをやはり選考すべきというふうに考えます。それらを総合的に判断しますと、やはり新技術が入り、燃費がよく、公害対策も凶れ、環境対策にきちっと対応できるような車種選定が必要というふうに考えます。やりとりの中でいろいろあるとは思いますが、変更できない理由が私は現時点で考えられないんです。ここへ予算は計上されていますが、価格面では随分下がってきますので、この予算内におさまるといふふうに私は思います。それらを含めて総合的に判断してまだ検討する余地が十分、この補正予算はそのまま通しておいても残予算が余る可能性は確実にあると思

ます。その点はいかがでしょうか。

○議長（久留島）町長。

○町長（山岡）今回の自動車の問題は日進月歩しまして、毎日プリウスじゃホンダの何だという低公害車の問題は盛んに皆さんから注目を浴びておる状況です。我が海田町におきましてはBUYマツダ運動としてマツダの車を1台でも多く買いたいというのが基本でございまして、それらの関係で、専門家が燃費の問題とか走行距離とか燃料の問題なんかを総合的に判断して、その中で決めさせていただきたいと思います。

（発言する者あり）

○議長（久留島）佐中議員の基金の質問に対して、副町長。

○副町長（三宅）それぞれ基金を積み立てます県当局に対しては、我が町に対して有利になるように要請してまいりたいと思います。

○議長（久留島）宗像議員。

○5番（宗像）5番、宗像です。先日来からいろいろ補正予算の説明を受けさせていただいた中で2点ほど確認をさせていただきたいことがございます。1点は、経済危機対策臨時交付金、海田町の枠として1億400万円ですか、枠があると。ところが、補正予算を見ましたら、トータルで約1億4,000万ぐらいの補正予算を組まれておるんじゃないかと思えますけれども、約3,000万ぐらいオーバーしている。今年度から財政が厳しいという中で、職員の給料をカットされながら一生懸命財源を捻出されている中で、一般財源を3,000万も余分に突っ込まなきゃならない理由をご説明願いたいのと、ただ、これは西山議員への説明の中で副町長が答えられた中と重複するかもしれませんが、その辺の入札の執行残やなんかを考えながらこれだけの予算を組まれているのかどうか、最終的には一般財源が使われないような方向で努力されるのかどうか、その辺を確認させていただきたいのがまず1点。

次に、デジタル化を随分しておられます。ほとんどの施設がデジタル化になると思われるんですけども、ただ、町営住宅、これが今回のデジタル化の中に入っていない。各町営住宅のいろんなところへ行きますと、町営住宅もいつになったらデジタル放送が受信できるようになるかということが言われております。せっかくここで補助金がいただけるのであれば、あわせてそういうところもデジタル化ができるような形で処理されるべきじゃないかと思うんですが、ご答弁をよろしく願いいたします。

○議長（久留島）副町長。

○副町長（三宅）一般財源についての考え方でございますが、2点考えておりまして、1点目は、議員がおっしゃいましたような入札残等で補助金を返すことのないようにと考えておりますが、その一方で、やはり国・県が経済対策をとる中で、町においても苦しい財政ではございますが、この際、幾らかでも経済対策に資するべく一般財源を出すというふうに考えております。ただ、おっしゃられましたように、極力ゼロには近づきたいとは思いますが、最終的には幾らかの一般財源を出すのがこのたびは必要ではないかという判断をいたしましてこれを組んでおります。以上でございます。

○議長（久留島）都市整備課長。

○都市整備課長（木原）町営住宅のデジタル化ということですが、町営住宅内はそれぞれのアンテナがありますので、それを一部改良するというで十分対応できます。ただ、共聴アンテナをしている地域がございますので、この地域は各施設とあわせて調査が必要であるということから、来年度調査をして対応していきたいということで、今回は入れていません。

○議長（久留島）宗像議員。

○5番（宗像）町営住宅につきましては、じゃ、できるだけ早い時期の形でのお願いをしたいと思います。

それから、どうしても一般財源が必要になるのは理解いたしますけれども、できる限り一般財源を使わないように最大限の努力をしていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

○議長（久留島）ほかに質疑はありませんか。原田議員。

○13番（原田）13番、原田です。緊急雇用対策ということで予算計上が上がっているんですが、これの予想できる効果というのはどのくらいに思われておるかというのを試算されておるかどうか。されていないならされていないで、ご答弁は結構です。

それと、先ほど西山議員から質疑が出ましたけれども、電子黒板の件ですが、同じ答弁を教育次長がされたように、明確に、さっきの西田議員じゃないけれども、機種への対応はどうかというのと一緒です。それは対応ができないのか、できるのかというのを私から聞きます。

それと、資料6の「工事箇所図」の中の3、あんしん歩行エリア対策工事（その2）。場所は海田町南幸町地内外とあるので、この資料が私の目では解説が難しいんですが、どのあたりでどうなっておるか。この資料を出されるときに、例えばこの資料に、カ

ラー舗装する部分はここですよ。これは白黒写真でしょう、資料が。ハッチングをかけるとか網かけをかけるとかをしてほしい。ここが施工の対象になるところであると。こっち、地図が何万分の1かになっているので、着色をお願いしたいんですが、こういう資料の心配りをしていただきたい。僕は、済みません、個人的なことを言いますが、赤緑色弱です。だから、あまり色が雑多になってくると逆に今度は何色ですと言われてもわからないので、その辺の資料の、訂正はここで要求はしませんけれども、今後こういう資料を出されるときにもうちょっとわかりやすい形にしていきたい。今の3点をお願いします。

○議長（久留島）企画部長。

○企画部長（大久保）第1点目の緊急雇用対策に係る経済波及効果につきましては、現時点ではそういった試算はしておりません。

○議長（久留島）建設課長。

○建設課長（久保田）以後、気をつけます。

○議長（久留島）教育次長。

○教育次長（青木基秀）このたび整備いたしますデジタルテレビにつきましては、将来、電子黒板を買う場合、それに接続できる機能を持ち合わせております。この電子黒板の整備につきましては、先ほどもご答弁申し上げましたように、今後、学校で必要とされた段階で予算化なりをしていきたいと考えておりまして、今後の検討課題としております。

○議長（久留島）原田議員。

○13番（原田）電子黒板付きのデジタルテレビが今ここへ計上されてくる予算の中ではもう買えないから、後で二重投資をしてでもやりますよというふうに聞こえてくるんです。価格も大分下がってくるようにも聞いていますので、その検討はできないのか、それとも絶対にデジタルテレビだけ買うよと。電子黒板は後で付加するものですよと。これは一線を譲らないんですかということですよ。

○議長（久留島）教育次長。

○教育次長（青木基秀）電子黒板には2通りございまして、デジタルテレビつきと、それがついていない2種類がございます。国はこの2つをいずれかということで国庫補助対象としております。今回テレビを先行して整備いたしますので、今後整備するとならば、テレビがつかない電子黒板について検討していきたいというふうに考えております。

す。

○議長（久留島）次長、今の質問に対して、できるか、できないかといって質問が出ておるんですが。予算の範囲内でできるか、できないかと聞いておられるんです。教育次長。

○教育次長（青木基秀）現予算ではあくまでもデジタルテレビだけでございますので、電子黒板への切りかえはできません。

○議長（久留島）原田議員。

○13番（原田）そうすると、デジタルテレビを購入すると。電子黒板については、今だったら私は買えるような金額だろうと思うんですけども、二重投資を考えておられるという答弁に解釈してよろしいですね。

○議長（久留島）教育次長。

○教育次長（青木基秀）電子黒板は、先ほどからご答弁申し上げましたように、テレビがついたものと、アクティブボード、いわゆる黒板に投影するものと2種類ございます。そうした意味では二重投資にはならないというふうに考えております。

○議長（久留島）崎本議員。

○12番（崎本）そうじゃなしに、今言われるのは、二重投資してまでやるんじゃなしに、今そういう機能があるテレビがあるんじゃから、それを検討されりゃいいんじゃないんですか。えっと金額も変わりゃへんのじゃから。そういう機能がついたテレビがあるんだから。同じ買うんじゃったらそういう機能がついた分で検討されてもいいんじゃないんですか。お金がえっと違わんかったら。極力そういう、えっと違わんかったら、二重投資せんと、ええ方法に行くように検討されてもいいんじゃないんですか。それが第1点目。

私はこれに反対するわけじゃないんですが、町道9号線歩道改修工事ですが、5,500万。私は反対するんじゃないんじやが、去年かおとし、これの塗りかえ工事で莫大な、莫大というても、予算をつけてやられたばかりですよ。そうしたら、ほかにまだ何かこれを緊急に即せにゃいけん、これ以外に私は町民のために何か緊急課題があったかなかったか、そこを検討されたかどうか、この2点をお願いします。

○議長（久留島）建設課長。

○建設課長（久保田）町道9号線の張り出し歩道につきましては、議員がおっしゃったように、これまで2回ほどあそこは補修しております。ご指摘いただいたのは、平成17年度に塗装のやりかえをしております。そのときに、ちょっと専門的になるんですが、パ

イプのサポートのところに穴があいておったり折れておったりということで、緊急的にあのときにモルタルの基礎をやって直しました。あそこの歩道が設置されたのが昭和40年代、47年より以前でございます。かねてから大規模な改修を担当課としてはいろいろ考えておりました。しかし、厳しい財政の中でなかなか国の予算も全額つきにくいというところがございます。このたび経済対策で全額補助でできるというような話がありましたので、これを千載一遇のチャンスと思い、取り組んでまいりました。以上です。

○議長（久留島）教育次長。

○教育次長（青木基秀）テレビつき電子黒板の導入につきましてはいましばらく研究する時間をいただきたいと思います。

○議長（久留島）ほかに質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（久留島）質疑なしと認めます。質疑を終結いたします。討論があれば許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（久留島）討論なしと認めます。討論を終結いたします。これより、第33号議案について採決を行います。お諮りいたします。

第33号議案については原案のとおり決するにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（久留島）異議なしと認めます。よって、第33号議案は原案のとおりこれを決めます。

以上で本臨時会に付議された案件はすべて終了いたしましたので、会議を閉じます。

これにて、平成21年第6回海田町議会臨時会を閉会いたします。皆さん、ご苦労さまでした。

午前10時28分 閉会